

Express5800/GT110d, GT110d-S, R110d-1E, E110d-1 ご使用時の注意事項

この度は、Express5800 シリーズ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、ユーザズガイドに記載されていない事項で、ご使用前にご注意していただきたいことについて記載しています。

本機ご使用前に、本書の注意事項をお読みくださいますようお願い申し上げます。

また、本書は必要なときにすぐに参照できるよう大切に保管してください。

1. 電源投入時の注意事項について

電源コードを接続して AC 電源 ON の状態にした後、本体 POWER スイッチ押下により本機を起動する場合、必ず AC 電源 ON の状態から 40 秒以上経過してから POWER スイッチを押してください。

経過時間が短い場合には、本機が起動しない場合や、以下のエラーログが登録され、ステータス LED がアンバー点灯する場合があります。

なお、エラーの解除およびステータス LED を消灯するには、一旦、電源コードを抜き、30 秒以上たってから電源コードを接続し直した上で、40 秒以上経過してから POWER スイッチを押してください。

「ESRAS ユーティリティ」上で登録されるログ

イベントジェネレータ:	44h
イベント内容:	マネージメントエンジン発生 マネージメントエンジンの状態変化を検出しました
イベント詳細:	内部エラー
拡張エラーコード:	45h

「Windows イベントビューアー:システムログ」上で登録されるログ

ソース(S):	ESMCommonService
イベント ID (E):	1400
レベル(L):	エラー
全般:	ファームウェアの内部エラーを検出しました。

2. 電力制御機能について

電力制御機能は Intel® Xeon® プロセッサを搭載した以下の製品でのみサポートしております。その他の CPU を搭載した製品では本機能は利用できません。

電力制御機能をサポートしている製品

Express5800/GT110d	: N8100-1768Y、NP8100-1768YP*Y
Express5800/GT110d-S	: N8100-1770Y、N8100-1772Y、NP8100-1770YP*Y、NP8100-1772YP*Y
Express5800/R110d-1E	: N8100-1761、N8100-1762、N8100-1764、N8100-1765
Express5800/E110d-1	: N8100-1776Y

※:「*」は任意の数字

3. Safe Power Cappingについて

本装置では Safe Power Capping をサポートしていません。

Web コンソール(EXPRESSSCOPE エンジン 3)、ESMPRO/Server Manager Version5、ROM Utility、および BMC Configuration において、Safe Power Capping に関する下記の設定項目を変更しないでください。

設定項目を変更した場合は、『無効』(初期値)に設定し直してご使用ください。

なお、電力ピーク制御機能(Critical Power Capping/Non-Critical Power Capping)はサポートしております。

(補足) Safe Power Capping: 電力制御機能の一つとして電力センサ故障時にプロセッサの電力を削減する機能



3-1. Web コンソール(EXPRESSSCOPE エンジン 3) 設定箇所

「設定」 → 「ECO」 → Safe Power Capping : Power Reading Timeout

参考値		
構成	状態	消費電力
最大構成(*1)	動作電力	250(W)
	待機電力	60(W)
最小構成(*2)	動作電力	100(W)
	待機電力	30(W)

注意事項
 (*1) 購入時に構成可能な最大構成を示します。
 (*2) 購入時に構成可能な最小構成を示します。
 本情報は参考値です。誤差や装置の構成などにより値が異なりますので、ご了承ください。

電力		CPUスロットリング		メモリスロットリング	
項目名	統計値	項目名	統計値	項目名	統計値
現在値	90(W)	現在値	0%	現在値	-
最大値	171(W)	最大値	84%	最大値	-
最小値	0(W)	最小値	0%	最小値	-
平均値	86(W)	平均値	0%	平均値	-

リセット

項目名	設定値
Critical Power Capping	
Critical Power Cap Sensor	無効
Safe Power Capping	
Power Reading Timeout	無効

Power Capping 機能は Intel(R) Xeon(R)系のプロセッサを搭載時のみ動作します。

3-2. ESM/Server Manager Version5 設定箇所

「リモート制御」 → 「電力管理」 → 「消費電力管理」 → Safe Power Capping : Power Reading Timeout

参考値		
構成	状態	消費電力
最大構成(*1)	動作電力	250(W)
	待機電力	60(W)
最小構成(*2)	動作電力	100(W)
	待機電力	30(W)

注意事項
 (*1) 購入時に構成可能な最大構成を示します。
 (*2) 購入時に構成可能な最小構成を示します。
 本情報は参考値です。誤差や装置の構成などにより値が異なりますので、ご了承ください。

電力		CPUスロットリング	
項目名	統計値	項目名	統計値
現在値	77(W)	現在値	0%
最大値	171(W)	最大値	0%
最小値	0(W)	最小値	0%
平均値	94(W)	平均値	0%

グラフ リセット

項目名	設定値
Critical Power Capping	
Critical Power Cap Sensor	無効
Non-Critical Power Capping	
Non-Critical Power Cap Sensor	無効
Safe Power Capping	
Power Reading Timeout	無効

編集 概念図

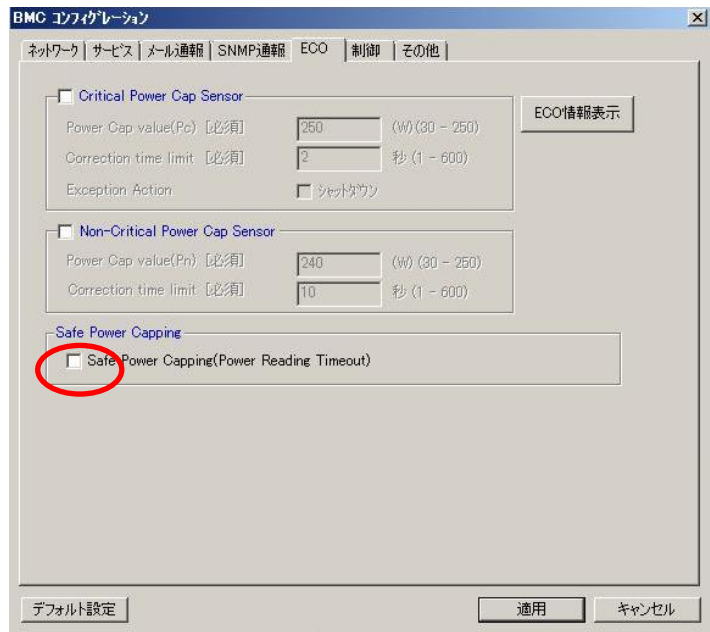
3-3. ROM Utility 設定箇所

「BMC Configuration」 → 「BMC Configuration」 → 「ECO」 → Power Cap Sensor: Safe Power Capping



3-4. BMC コンフィグレーション設定箇所

「BMC コンフィグレーション設定」 → 「ECO」 → Safe Power Capping : Safe Power Capping



4. Suspend Periods設定について

本装置では Suspend Periods をサポートしておりません。

ESMPRO/Server Manager Version5 の Suspend Period 設定において、スケジュールの登録は行わないでください。Suspend Periods 設定にてスケジュールを登録すると、電力制御機能が正しく動作しない場合があります。

(補足) Suspend Periods: 電力制御機能の一つとして電力監視を一時停止(Suspend)する時間帯のスケジュールを設定する機能

Suspend Periods 設定箇所

「リモート制御」→「電力管理」→「ECO 設定」→「Suspend Periods 設定」

スケジュールの追加

曜日	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
月																								
火																								
水																								
木																								
金																								
土																								
日																								

スケジュールの追加について
 スケジュールは最大5つまで登録出来ます。
 画面上部の「スケジュールの追加」リンクを押すか、登録する期間をマウスでドラック&ドロップして、スケジュールを追加してください。



5. Red Hat Enterprise Linux 6 Server のご使用について

Red Hat Enterprise Linux 6 Server にて、特定の条件を満たすファイルに対して、範囲外のオフセットを指定して書き込みをするとシステムがパニックする問題があります。本問題はkernel-2.6.32-131.12.1.el6で修正されています。


カーネルをkernel-2.6.32-131.12.1.el6以降へアップデートしてください。

また、Linux サービスセットをご購入のお客様は、詳細をNEC サポートポータルに公開しておりますので、「[RHEL6]注意・制限事項」の「ID:06144」をご確認ください。

6. インストールガイド誤記訂正について

本機付属のインストールガイド(Windows 編)に誤記がありましたので、訂正させていただきます。

■注意事項一覧

項番 (対応OS)	注意事項
1 (Windows Server 2008 R2)	<p>インストールガイド(Windows編)の記載について</p> <p>インストールガイド(72ページ)において、「(2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)」の項目で誤記がありましたので、下記のように訂正させていただきます。</p> <p>誤)</p> <p>(2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)</p> <p>本機にてN8104-134 を使用する場合、TCP/iSCSI Offload Engine をオフに設定しなければなりません。</p> <p>下記の手順を参考に設定を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none">[コントロールパネル]から[Broadcom Control Suite3]アイコンをダブルクリックします。 [Broadcom Advanced Control Suite3]が起動します。[Explorer View]の[Device Management]を選択し、[System device(VBD)]内のN8104-134のネットワークアダプタを選択します。[Configurations]タブを選択し、[Resource Reservations]を展開します。[Pre-Allocated Resource]内の[iSCSI Offload Engine]にチェックが入っている場合はチェックを外し、[Apply]をクリックします。 <p> [TCP Offload Engine]にチェックがある場合はチェックを外してください。</p> <ol style="list-style-type: none">[Explorer View]の[Network Adapters(NDIS driver)]内のN8104-134のネットワークアダプタを選択します。[Configurations]タブを選択し、[TCP Connection Offload(IPv4)]と[TCP Connection Offload(IPv6)]の値を[Disable]に設定し、[Apply]をクリックします。 すでに[Disable]になっている場合はそのままにします。すべてのN8104-134のネットワークアダプタで手順2～6まで実施します。システムを再起動します。 <p>以上で完了です。</p>

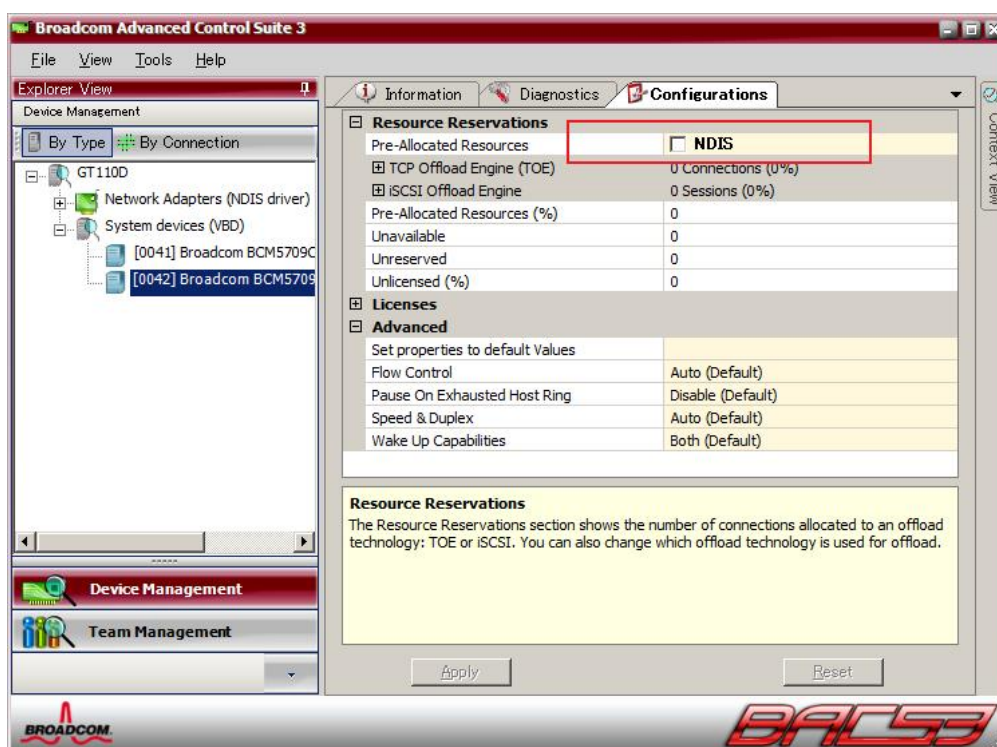


正)

(2) N8104-134 を使用する場合の注意事項

本機にてN8104-134 を使用する場合、TCP/iSCSI Offload Engineには対応していないため、同機能に関する設定項目は表示されません。従って、
(2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)
に記載されている設定は行う必要はありません。

また、Broadcom Advanced Control Suite3の設定画面は以下となります。
[Resource Reservations]の[Pre-Allocated Resource]にあるNDISには、
チェックしないでください(初期設定から変更しないでください)。



インストールガイド(Windows編)の記載について

インストールガイド(153ページ)において、「(2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)」の項目で誤記がありましたので、下記のように訂正させていただきます。

誤)

(2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)

本機にてN8104-134 を使用する場合、TCP/iSCSI Offload Engine をオフに設定しなければなりません。

下記の手順を参考に設定を行ってください。

1. [コントロールパネル]から[Broadcom Control Suite3]アイコンをダブルクリックします。
[Broadcom Advanced Control Suite3]が起動します。
2. [Explorer View]の[Device Management]を選択し、[System device(VBD)]内のN8104-134のネットワークアダプタを選択します。
3. [Configurations]タブを選択し、[Resource Reservations]を展開します。
4. [Pre-Allocated Resource]内の[iSCSI Offload Engine]にチェックが入っている場合はチェックを外し、[Apply]をクリックします。



[TCP Offload Engine]にチェックがある場合はチェックを外してください。

5. [Explorer View]の[Network Adapters(NDIS driver)]内のN8104-134のネットワークアダプタを選択します。
6. [Configurations]タブを選択し、[TCP Connection Offload(IPv4)]と[TCP Connection Offload(IPv6)]の値を[Disable]に設定し、[Apply]をクリックします。
すでに[Disable]になっている場合はそのままにします。
7. すべてのN8104-134のネットワークアダプタで手順2~6まで実施します。
8. システムを再起動します。
以上で完了です。



正)

(2) N8104-134 を使用する場合の注意事項

本機にてN8104-134 を使用する場合、TCP/iSCSI Offload Engineには対応していないため、同機能に関する設定項目は表示されません。従って、

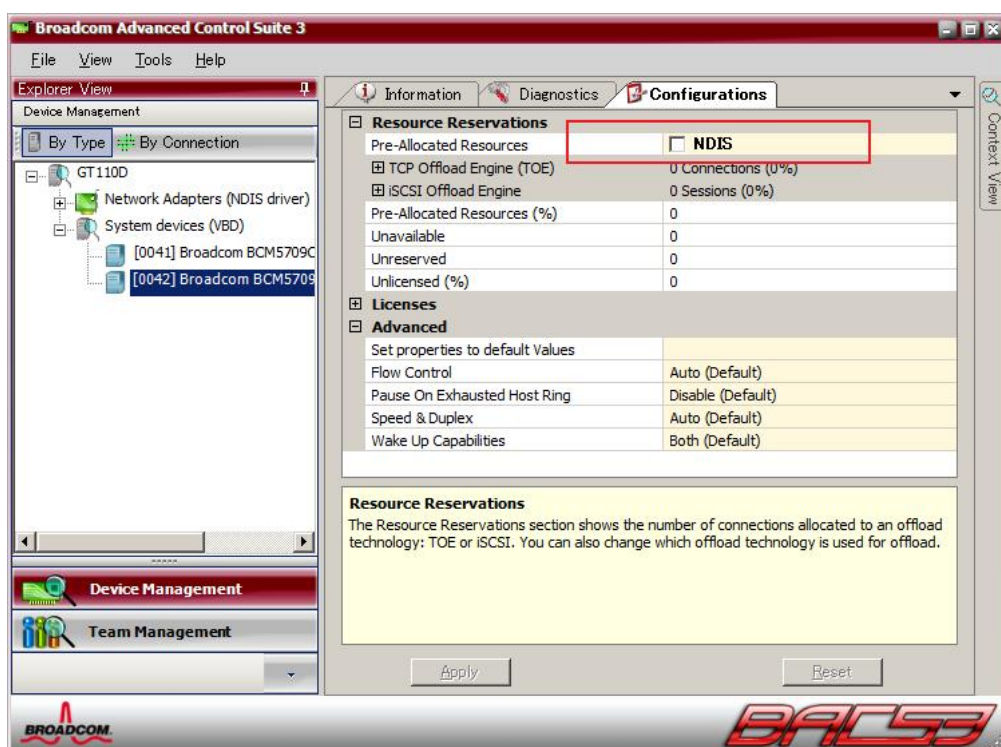
(2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)

に記載されている設定は行う必要はありません。

また、Broadcom Advanced Control Suite3の設定画面は以下となります。

[Resource Reservations]の[Pre-Allocated Resource]にあるNDISには、

チェックしないでください(初期設定から変更しないでください)。



3
(Windows
Server 2003
R2 x64
Edition)

インストールガイド(Windows編)の記載について

インストールガイド(210ページ)において、「(2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)」の項目で誤記がありましたので、下記のように訂正させていただきます。

誤)

(2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)

本機にてN8104-134 を使用する場合、TCP/iSCSI Offload Engine をオフに設定しなければなりません。

下記の手順を参考に設定を行ってください。

1. [コントロールパネル]から[Broadcom Control Suite3]アイコンをダブルクリックします。
[Broadcom Advanced Control Suite3]が起動します。
2. [Explorer View]の[Device Management]を選択し、[System device(VBD)]内のN8104-134のネットワークアダプタを選択します。
3. [Configurations]タブを選択し、[Resource Reservations]を展開します。
4. [Pre-Allocated Resource]内の[iSCSI Offload Engine]にチェックが入っている場合はチェックを外し、[Apply]をクリックします。



[TCP Offload Engine]にチェックがある場合はチェックを外してください。

5. すべてのN8104-134のネットワークアダプタで手順2～4まで実施します。
 6. システムを再起動します。
- 以上で完了です。



正)

(2) N8104-134 を使用する場合の注意事項

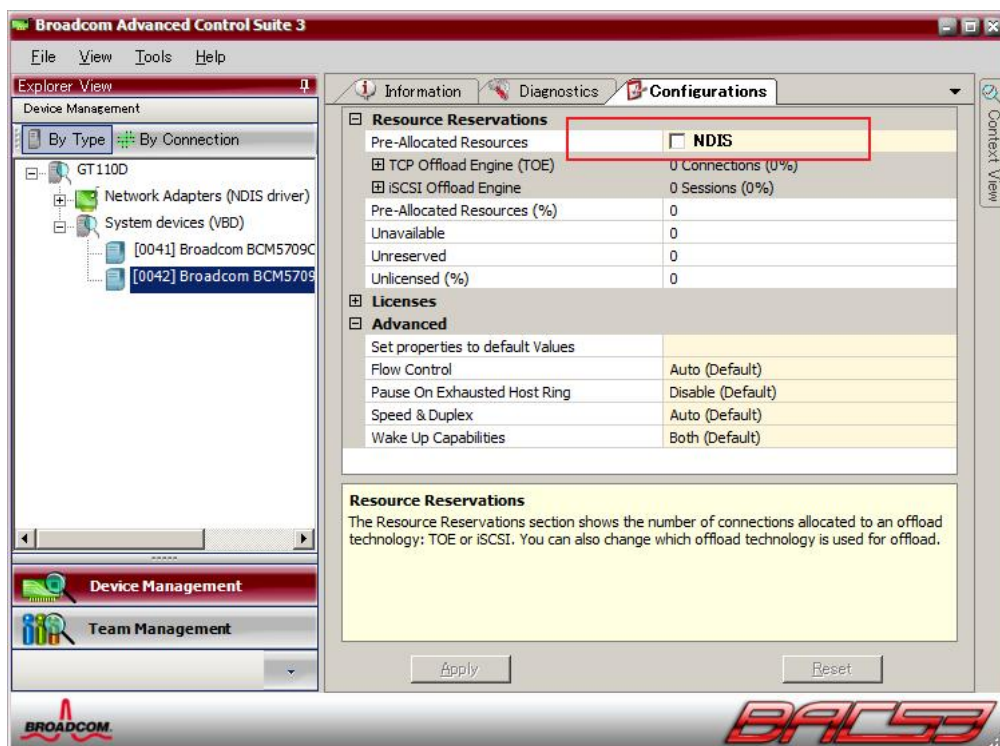
本機にてN8104-134 を使用する場合、TCP/iSCSI Offload Engineには対応していないため、同機能に関する設定項目は表示されません。従って、

(2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)

に記載されている設定は行う必要はありません。

また、Broadcom Advanced Control Suite3の設定画面は以下となります。

[Resource Reservations]の[Pre-Allocated Resource]にあるNDISには、チェックしないでください(初期設定から変更しないでください)。



インストールガイド(Windows編)の記載について

インストールガイド(262ページ)において、「(2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)」の項目で誤記がありましたので、下記のように訂正させていただきます。

誤)

(2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)

本機にてN8104-134 を使用する場合、TCP/iSCSI Offload Engine をオフに設定しなければなりません。

下記の手順を参考に設定を行ってください。

1. [コントロールパネル]から[Broadcom Control Suite3]アイコンをダブルクリックします。
[Broadcom Advanced Control Suite3]が起動します。
2. [Explorer View]の[Device Management]を選択し、[System device(VBD)]内のN8104-134のネットワークアダプタを選択します。
3. [Configurations]タブを選択し、[Resource Reservations]を展開します。
4. [Pre-Allocated Resource]内の[iSCSI Offload Engine]にチェックが入っている場合はチェックを外し、[Apply]をクリックします。



[TCP Offload Engine]にチェックがある場合はチェックを外してください。

5. すべてのN8104-134のネットワークアダプタで手順2～4まで実施します。
 6. システムを再起動します。
- 以上で完了です。



正)

(2) N8104-134 を使用する場合の注意事項

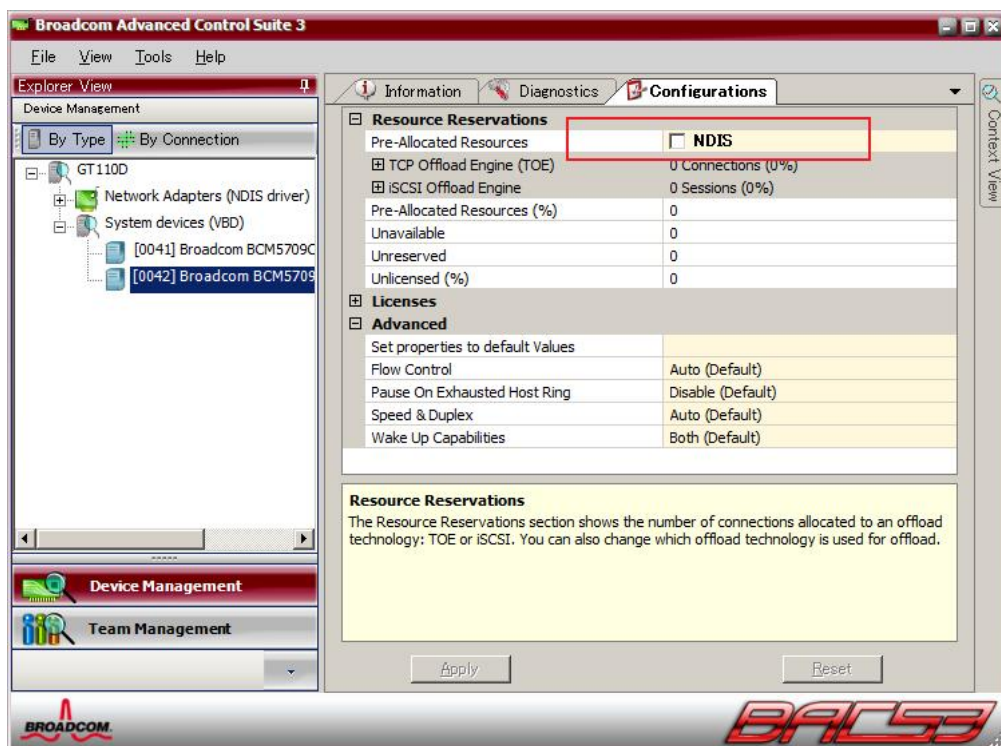
本機にてN8104-134 を使用する場合、TCP/iSCSI Offload Engineには対応していないため、同機能に関する設定項目は表示されません。従って、

(2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)

に記載されている設定は行う必要はありません。

また、Broadcom Advanced Control Suite3の設定画面は以下となります。

[Resource Reservations]の[Pre-Allocated Resource]にあるNDISには、チェックしないでください(初期設定から変更しないでください)。



7. 未実装のリムーバブルドライブの表示について

本装置では、オペレーティングシステム上に、実装しているドライブのほかに複数のリムーバブルドライブが表示されます。これらのリムーバブルドライブは、EXPRESSSCOPE エンジン 3 のリモートメディア機能(*1)のために予約されている仮想ドライブであり正常な状態です。

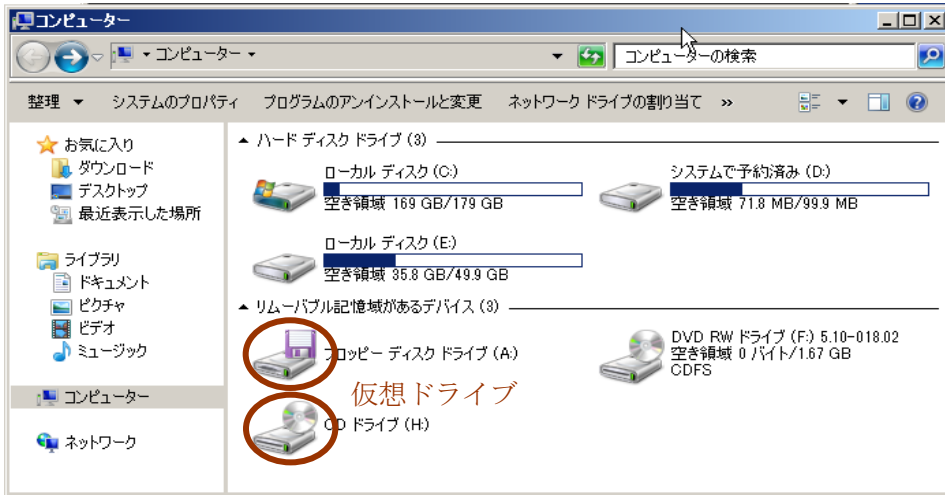


図 1. Windows Server 2008 R2 コンピューターフォルダー 表示例(*2)

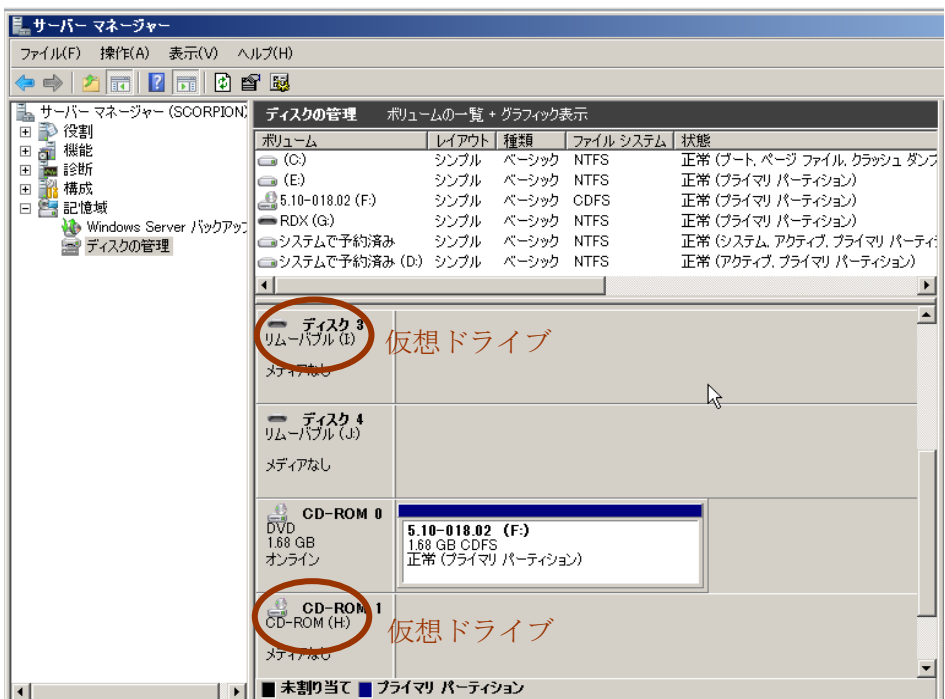


図 2. Windows Server 2008 R2 サーバーマネージャー 表示例(*2)

*1: 遠隔の管理 PC に接続した FD/CD/DVD ドライブ、ISO イメージおよびフラッシュメモリを、対象サーバに接続されているドライブとして使用することができる機能。詳細は、本体装置添付の「EXPRESSSCOPE エンジン 3 ユーザーズガイド」を参照ください。

*2: ドライブ数およびドライブ文字はシステム構成により異なります。



■ 本件に関するお問い合わせについて

本書の内容にご不明点等ございましたら、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせ先:ファーストコンタクトセンター

TEL :03-3455-5800

受付時間 :9:00~12:00 13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日を除く)

※ 番号をお間違えにならないようお確かめのうえお問い合わせください。



Precautions on the Use of Express5800/GT110d, GT110d-S, R110d-1E, E110d-1

This paper describes the precautions on the use of Express5800/ GT110d, GT110d-S, R110d-1E, E110d-1, which are not included in the User's Guide.
Please read the precautions before use and keep the paper at hand in case you need to refer to it.

1. Power Capping Function

- Power Capping Function is available for the following products equipped with Intel® Xeon® processors.

Products supporting the Power Capping Function :

Processor Kit(4C/E3-1220) : N8101-500F, N8101-504F, N8101-506F
 Processor Kit(4C/E3-1270) : N8101-507F
 Processor Kit(4C/E3-1260L) : N8101-511F

2. Safe Power Capping

This server has Safe Power Capping Function. The function will reduce power consumption of processor when power sensor does not work. It can be set from Web console (EXPRESSSCOPE ENGINE 3), ESM/Server Manager Version5, ROM Utility, or BMC Configuration, but do not change the default value (disable safe power capping function).

2-1 Setting for Web console (EXPRESSSCOPE ENGINE 3)

[Configuration] → [ECO] → Safe Power Capping : Power Reading Timeout

Reference		
Configuration	Status	Power Consumption
Maximum Configuration(*1)	During Operation	250(W)
	Idle	60(W)
Minimum Configuration(*2)	During Operation	100(W)
	Idle	30(W)

Warning
 (*1)Maximum configuration means 'an available maximum configuration in the purchase'.
 (*2)Minimum configuration means 'an available minimum configuration in the purchase'.
 These values are reference only. Each value includes a possible tolerance and might be different from the actual value which depends on your precise server configuration.

Power		CPU Throttling		Memory Throttling	
Item Name	Statistics	Item Name	Statistics	Item Name	Statistics
Current	84(W)	Current	0%	Current	-
Maximum	105(W)	Maximum	0%	Maximum	-
Minimum	66(W)	Minimum	0%	Minimum	-
Average	77(W)	Average	0%	Average	-

Reset
Reset
Reset

Item Name	Setup Value
Critical Power Capping	
Critical Power Cap Sensor	Disable
Safe Power Capping	
Power Reading Timeout	Disable

Power Capping function requires Intel(R) Xeon(R) Processor.



2-2 Setting for ESM/Server Manager Version5

[Remote Control] → [Electric Power Management] → [ECO Setting] → [Power Capping]
 → Safe Power Capping : Power Reading Timeout

Reference		
Constitution	Status	Power Consumption
Maximum Configuration (*1)	During Operation	250 (W)
	Idle	60 (W)
Minimum Configuration (*2)	During Operation	100 (W)
	Idle	30 (W)

Notes
 (*1)Maximum configuration means 'an available maximum configuration in the purchase.'
 (*2)Minimum configuration means 'an available minimum configuration in the purchase.'
 These values are reference only. Each value includes a possible tolerance and might be different from the actual value which depends on your precise server configuration.

Power		GPU Throttling	
Item Name	Statistics	Item Name	Statistics
Current	79 (W)	Current	0 %
Maximum	160 (W)	Maximum	0 %
Minimum	66 (W)	Minimum	0 %
Average	78 (W)	Average	0 %

Graph Reset Graph Reset

Item Name	Setup Value
Critical Power Capping	
Critical Power Cap Sensor	Disable
Non-Critical Power Capping	
Non-Critical Power Cap Sensor	Disable
Safe Power Capping	
Power Reading Timeout	Disable

Edit Conceptual Diagram

2-3 Setting for ROM Utility

[BMC Configuration] → [BMC Configuration] → [ECO] → Power Cap Sensor : Safe Power Capping

2-4 Setting for BMC Configuration

[Set BMC Configuration] → [ECO] → Safe Power Capping : Safe Power Capping

The screenshot shows the 'BMC Configuration' window with the 'ECO' tab selected. Under the 'Safe Power Capping' section, the checkbox for 'Safe Power Capping (Power Reading Timeout)' is circled in red. Other settings visible include 'Critical Power Cap Sensor' (checked) with a power cap value of 250 W and a correction time limit of 2 seconds, and 'Non-Critical Power Cap Sensor' (checked) with a power cap value of 240 W and a correction time limit of 10 seconds.



3. Precautions of power on

• When you switch on the server after plugging the AC power cable into the AC inlet, wait for 40 seconds or over from AC power-on. Or the following error log will be registered and the status LED may turn amber. To solve this error and turn off the status LED, unplug the AC power cable and plug it again in over 30 seconds.

ESRAS Utility

[Remote Control] → [IPMI Information] → [SEL(System Event Log)]
Event Generator: 44h
Event: Management Engine Asserted
Management Engine status changed detected
Event Details: Internal error
Extended Error Code: 45h

Windows Event Viewers: Windows logs: system

Log Name: System
Source: ESMCommonService
Event ID: 1400
Level: Error
General: Firmware internal error occurred.

4. Suspend Periods Setting.

• As one of the Power Capping Function, this server has Suspend Periods Function to schedule the suspension of Power Management. It can be set from ESMPRO/Server Manager Version5, but this server does not support the function.

Setting for Suspend Periods

[Remote Control] → [Electric Power Management] → [ECO Setting] → Suspend Periods

Addition of schedules

A day of the week	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
Mon.																								
Tue.																								
Wed.																								
Thu.																								
Fri.																								
Sat.																								
Sun.																								

For additional information on schedule
You can register up to five schedules.
Top of the screen, "Adding a Schedule" link or press, drag your mouse to drop and for how long, please add the schedule.



5. About Correction of installation guide

Correction of a writing error in installation guide(Windows) supplied with this product.

■Cautions list

Clause (Support OS)	Cautions
1 (Windows Server 2008 R2)	<p>About installation guide(Windows)</p> <p>There is a writing error in (2) Setting the TCP/iSCSI Offload Engine (if using N8104-134) of installation guide(Page 60). The correction contents are as follows.</p> <p>Error)</p> <p>(2) Setting the TCP/iSCSI Offload Engine (if using N8104-134)</p> <p>If using N8104-134 with the server, TCP/iSCSI Offload Engine must be set to off. Follow the procedure below to set it.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Double-click the Broadcom Control Suite3 icon on the Control Panel window. Broadcom Advanced Control Suite3 starts. 2. Select Device Management under Explorer View, and then N8104-134 network adapter from Systemdevice (VBD). 3. Select the Configurations tab, and then expand Resource Reservations. 4. Clear the iSCSI Offload Engine and TCP Offload Engine check boxes (if selected) under Pre-Allocated Resource, and then click [Apply]. <p>Tips If TCP Offload Engine does not exist, proceed to the next step.</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. Select N8104-134 network adapter from Network Adapters (NDIS driver) in the Explorer View. 6. Select the Configurations tab, specify Disable for TCP Connection Offload (IPv4) and TCP Connection Offload (IPv6), and then click [Apply]. Do not make changes if they are already disabled. 7. Complete steps 2 to 6 for each N8104-134 network adapter. 8. Restart the system. <p>TCP/iSCSI Offload Engine setup is now complete.</p>



Right)

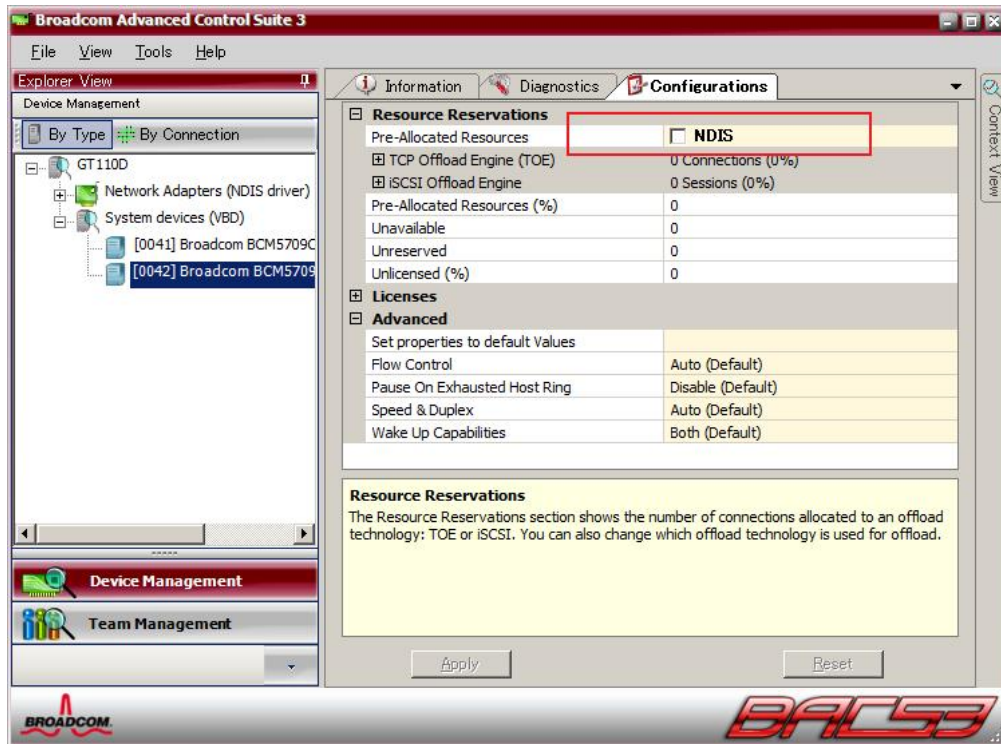
(2) Cautions when using N8104-134

Using N8104-134 with these servers, TCP/iSCSI Offload Engine is not supported.

TCP/iSCSI Offload Engine parameters will not appear and there are not necessary to be configure.

Default setting for **NDIS** in following **Broadcom Advanced Control Suite3** is unchecked.

Please do not change the **NDIS** configuration.



About mention in installation guide(Windows)

There is a writing error in (2) **Setting the TCP/iSCSI Offload Engine (if using N8104-134)** of installation guide(Page 127). The correction contents are as follows.

Error)

(2) Setting the TCP/iSCSI Offload Engine (if using N8104-134)

If using N8104-134 with the server, TCP/iSCSI Offload Engine must be set to off.

Follow the procedure below to set it.

1. Double-click the **Broadcom Control Suite3** icon on the Control Panel window.
Broadcom Advanced Control Suite3 starts.
2. Select **Device Management** under **Explorer View**, and then **N8104-134 network adapter** from **Systemdevice (VBD)**.
3. Select the **Configurations** tab, and then expand **Resource Reservations**.
4. Clear the **iSCSI Offload Engine** and **TCP Offload Engine** check boxes (if selected) under **Pre-Allocated Resource**, and then click [Apply].

Tips

If **TCP Offload Engine** does not exist, proceed to the next step.

5. Select N8104-134 network adapter from **Network Adapters (NDIS driver)** in the **Explorer View**.
6. Select the **Configurations** tab, specify **Disable** for **TCP Connection Offload (IPv4)** and **TCP Connection Offload (IPv6)**, and then click [Apply].
Do not make changes if they are already disabled.
7. Complete steps 1 to 6 for each N8104-134 network adapter.
8. Restart the system.

TCP/iSCSI Offload Engine setup is now complete.



Right)

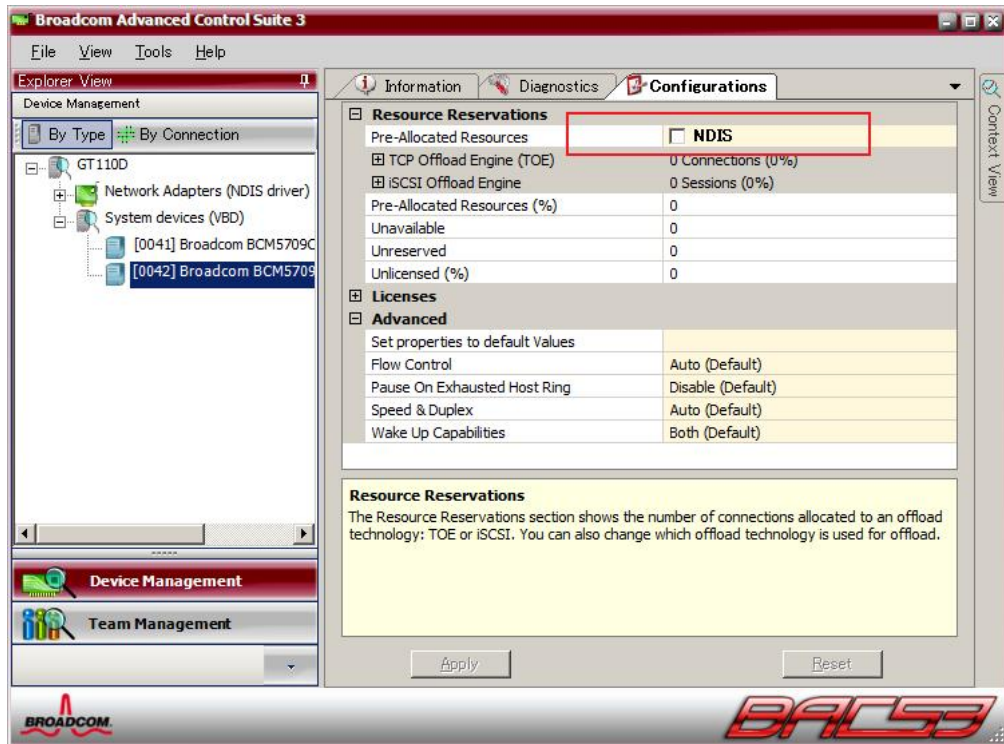
(2) Cautions of if using N8104-134

Using N8104-134 with these servers, TCP/iSCSI Offload Engine is not supported.

TCP/iSCSI Offload Engine parameters will not appear and there are not necessary to be configure.

Default setting for **NDIS** in following **Broadcom Advanced Control Suite3** is unchecked.

Please do not change the **NDIS** configuration.



3

(Windows
Server 2003
R2 x64
Edition)

About mention in installation guide(Windows)

There is a writing error in (2) **Setting the TCP/iSCSI Offload Engine (if using N8104-134)** of installation guide(Page 182). The correction contents are as follows.

Error)

(2) **Setting the TCP/iSCSI Offload Engine (if using N8104-134)**

If using N8104-134 with the server, TCP/iSCSI Offload Engine must be set to off.

Follow the procedure below to set it.

1. Double-click the **Broadcom Control Suite3** icon on the Control Panel window.
Broadcom Advanced Control Suite3 starts.
2. Select **Device Management** under **Explorer View**, and then **N8104-134 network adapter** from **System device (VBD)**.
3. Select the **Configurations** tab, and then expand **Resource Reservations**.
4. Clear the **iSCSI Offload Engine** and **TCP Offload Engine** check boxes (if selected) under **Pre-Allocated Resource**, and then click [Apply].

Tips

If **TCP Offload Engine** does not exist, proceed to the next step.

5. Complete steps 2 to 4 for each N8104-134 network adapter.

6. Restart the system.

TCP/iSCSI Offload Engine setup is now complete.



Right)

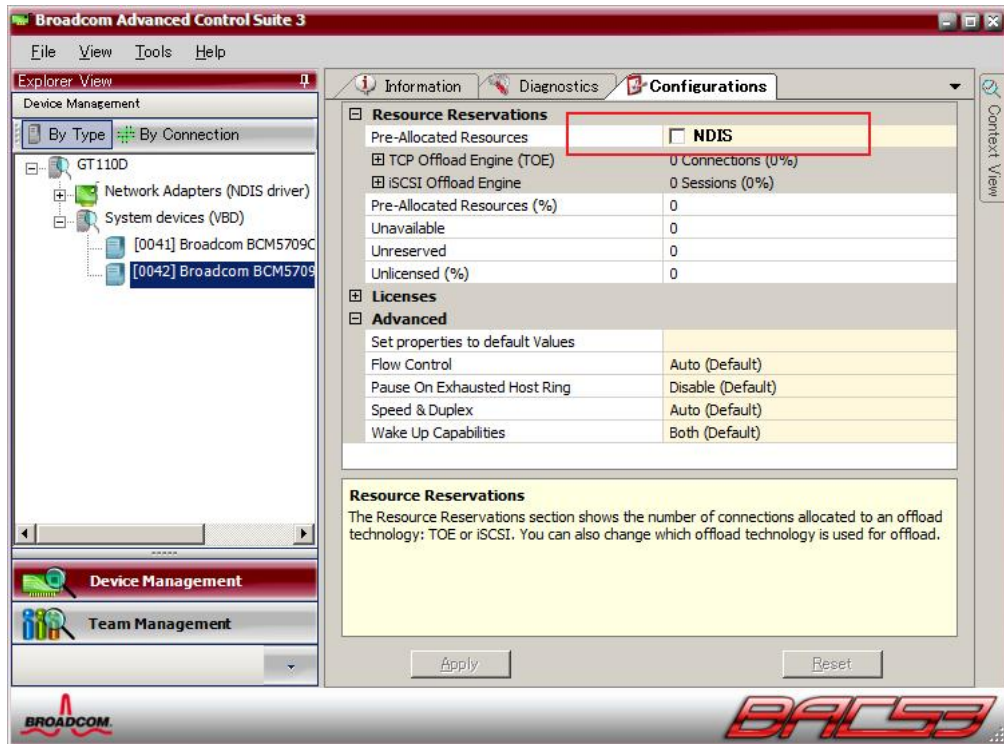
(2) Cautions of if using N8104-134

Using N8104-134 with these servers, TCP/iSCSI Offload Engine is not supported.

TCP/iSCSI Offload Engine parameters will not appear and there are not necessary to be configure.

Default setting for **NDIS** in following **Broadcom Advanced Control Suite3** is unchecked.

Please do not change the **NDIS** configuration.



About mention in installation guide(Windows)

There is a writing error in **(2) Setting the TCP/iSCSI Offload Engine (if using N8104-134)** of installation guide(Page 232). The correction contents are as follows.

Error)

(2) Setting the TCP/iSCSI Offload Engine (if using N8104-134)

If using N8104-134 with the server, TCP/iSCSI Offload Engine must be set to off.

Follow the procedure below to set it.

1. Double-click the **Broadcom Control Suite3** icon on the Control Panel window.
Broadcom Advanced Control Suite3 starts.
2. Select **Device Management** under **Explorer View**, and then **N8104-134 network adapter** from **System device (VBD)**.
3. Select the **Configurations** tab, and then expand **Resource Reservations**.
4. Clear the **iSCSI Offload Engine** and **TCP Offload Engine** check boxes (if selected) under **Pre-Allocated Resource**, and then click [Apply].

Tips

If TCP Offload Engine does not exist, proceed to the next step.

5. Complete steps 2 to 4 for each N8104-134 network adapter.

6. Restart the system.

TCP/iSCSI Offload Engine setup is now complete.



Right)

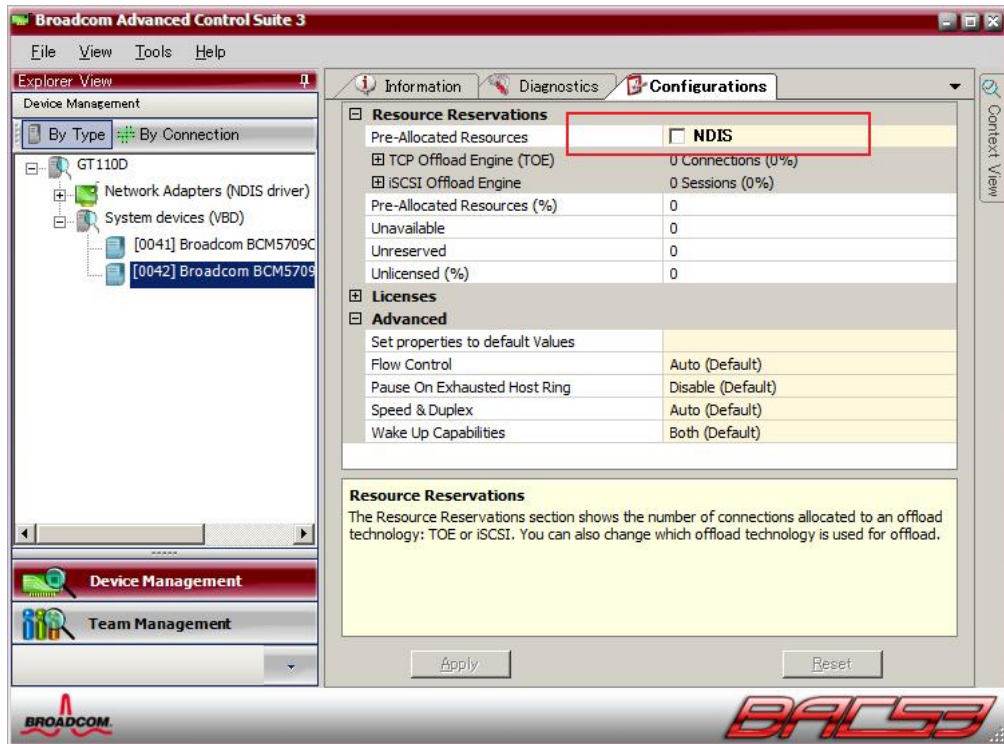
(2) Cautions of if using N8104-134

Using N8104-134 with these servers, TCP/iSCSI Offload Engine is not supported.

TCP/iSCSI Offload Engine parameters will not appear and there are not necessary to be configure.

Default setting for **NDIS** in following **Broadcom Advanced Control Suite3** is unchecked.

Please do not change the **NDIS** configuration.



6. Displayed non-mounted removable drives

More than one removable drive is displayed in addition to the drive mounted on an operating system by this equipment. This isn't abnormal and these removable drives are the virtual disk drive reserved for the remote function of media of EXPRESSSCOPE Engine 3(*1).

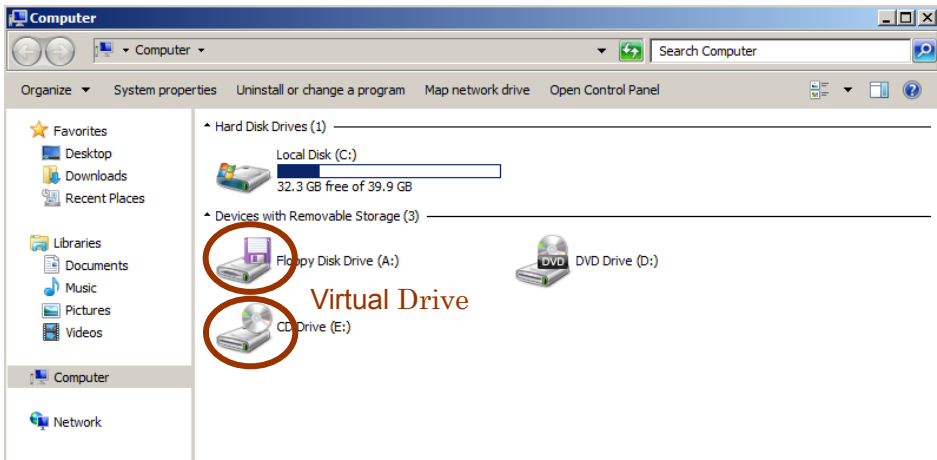


Fig.1 Exp. Windows Server 2008 R2 Computer Folder (*2)

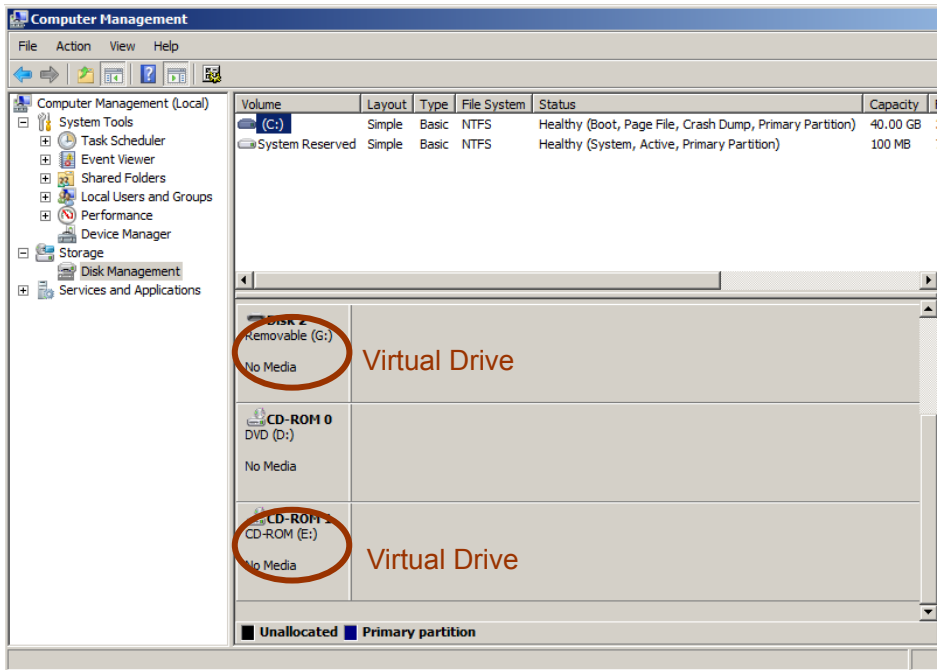


Fig.2 Exp. Windows Server 2008 R2 Server Manager (*2)

*1 : The function it's possible to use the FD/CD/ DVD drive, the ISO image and the flash memory connected to a remote management PC for which as the drive connected to a target server. For details, please refer to "EXPRESSSCOPE Engine 3 User's guide" of this product attachment.

*2 : The number of drives and the drive character are different depending on system configurations.



